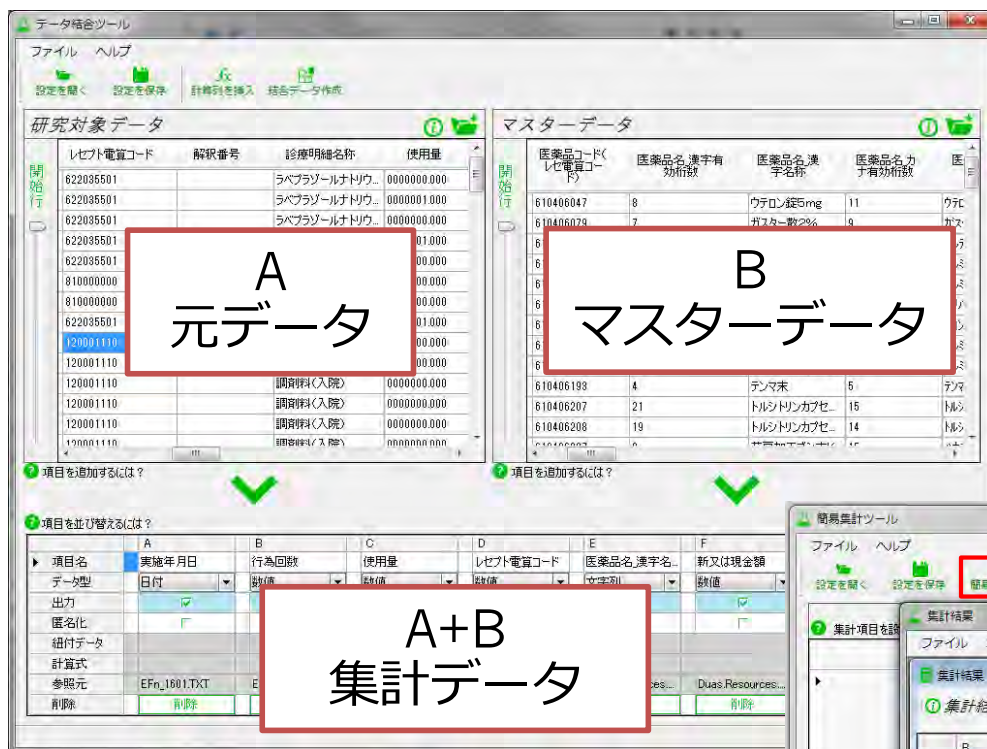
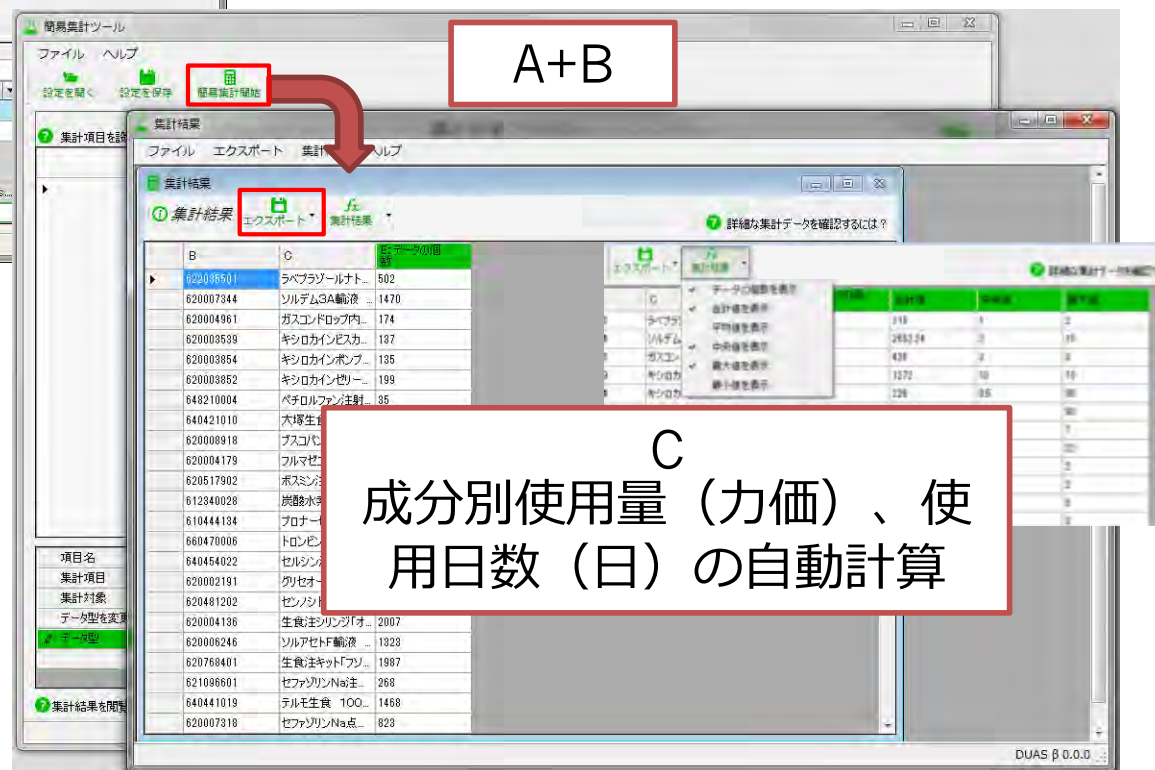


# Antimicrobial Consumption Aggregate System (ACAS)



A (元データ) : ユーザーが任意で読み込む

B (マスターデータ) : 我々が独自に整備したもの、もしくは、ユーザーが用意したファイル



元データにマスターデータにある集計に必要な情報を元データとマスターデータ共に存在する値 (YJコード等) で突合させて挿入できる

株式会社 医用工学研究所と開発中  
<http://www.meiz.co.jp/acas.html>

## データ結合のタブ

- ① 対象となるデータを読み込む
- ② マスターデータを読み込む
- ③ 対象データから、使用量（本）や抗菌薬名及び紐付けるコードを選択する
- ④ 対象となるデータに不足している情報を選択する（DDD、規格など）
- ⑤ ③で選んだ紐付けるコードと同じものを④から選択する。
- ⑥ 対象データが本数であれば、力価を計算。
- ⑦ 「結合ファイルを作成」のボタンを押す
- ⑧ 作成されたファイルを保存

## 治療日数の集計のタブ（EFファイルの場合）

- ① 作成したファイルを読み込む
  - ② 縦軸に表記したい項目を選択
  - ③ 集計する対象として使用量（力価）を選択
  - ④ EFファイルの必須項目（施設コード、データ識別番号、レセプト電算コード、実施年月日）を選択
  - ⑤ 「集計開始」のボタンを押す
  - ⑥ 作成されたファイルを保存
- EFファイルから、治療日数の合計、投与量の合計が算出される

## AUD・DOT算出のタブ（AUDの場合）

- ① 対象となるデータを読み込む
- ② 結果に表示する項目を選択する
- ③ DDDの列を選択する（DOTの場合は選択肢がない）
- ④ 計算する列（AUDであれば、使用量の合計）を選択する。
- ⑤ 在院患者延日数を入力
- ⑥ 補正する係数を入力する（初期値は100）
- ⑦ 「AUD計算開始」のボタンを押す
- ⑧ 作成されたファイルを保存

⑦、⑧

⑥

100 bed-days 等

①

②、③、④、⑤

RICSS ヘッダー情報を入力

データ区分 「1」固定

医療機関コード(レセプト)

医療機関コード(JANIS)

報告対象年月

患者延日数

データ登録日 2017年 7月 5日

データ作成日 2017年 7月 5日

EFファイルを選択

開始 閉じる

made by CLISTA! ACAS 1.0.0.1

B	C	D	E	F	G	H
0000	0000	201706	7743	20170608	20170608	
0000	0000	20170608	MONO	ミノサイクリン塩酸塩	0.00	2
0000	0000	20170608	ABPC	アモキシシナドリン	0.00	0
0000	0000	20170608	FBPC	ピペラシリンナドリン	10.00	0
0000	0000	20170608	PCG	ペニシリンナドリン	0.00	1
0000	0000	20170604	ABPC/SET	スルバクタムナドリン	007.00	00
0007	0000	20170304	TAC			
0011	0000	20170908	GE			
0012	0000	20170908	CT			
0013	0000	20170908	CM			
0015	0000	20170908	SM			
0017	0000	20170908	CT			
0019	0000	20170908	OA			
0020	0000	20170908	CT			
0024	0000	20170908	DF			
0025	0000	20170908	SB			
0029	0000	20170908	CF			
0029	0000	20170908	CD			
0030	0000	20170908	ME			
0032	0000	20170908	DR			

## RICSS連携ファイルの作成のタブ

- ① 医療機関コードを入力する（必須）
- ② 医療機関コード（JANIS）を入力（任意）
- ③ 報告対象年月、データの登録日、作成日を入力する
- ④ EFファイルを選択し、開始ボタンを押す
- ⑤ 1行目に施設情報、在院患者延日数等が示され、使用量、使用日数の合計値、計算した際のDDDが記載されたファイルが作成される